

項目				自己評価
Ⅲ	教師としての資質	1 専門家としての能力	① クラブの教諭・職員として、それぞれの分野における専門知識や技術を身につけている。	3.2
			② より高度な専門知識や技能を身につけようと研鑽している。	3.3
			③ 児童の個性を把握するよう努めている。	3.4
			④ 仕事の手順をよく考え、能率よく行っている。	3.6
		2 良識とマナー	① 勤務時間外でも、保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている	3.6
			② クラブに、プライベートな生活を持ち込まないようにしている。	4.0
			③ 児童や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにしている。	4.0
			④ 児童や保護者、教職員の間でのあいさつや感謝の言葉などをきちんとしている。	4.0
			⑤ クラブの消耗品や教材は節約して使い、あとで使う人が使いやすいように整理している。	3.6
			⑥ 服装・髪型・身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている。	4.0
		3 義務	① 自分の健康に配慮し、つめが伸びていないかなど、保育をするうえでの安全性に気をつけている。	4.2
			② 職務上知りえたプライバシーに関する情報等の秘密を守っている。	4.6
			③ 教材・教具の管理、点検に気を配っている。	3.6
			④ クラス内はもちろん、施設内外の清掃や整理整頓を実行している。	4.0
			⑤ 締め切りのある仕事や提出物は、指定された日をきちんと守っている。	4.2
		4 組織	① 教職員全員で、一つのチームであることを意識している。	4.4
			② 他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる。	4.0
			③ 児童のこと、クラスでのできごとで必要なことを責任者に報告・連絡・相談している。	4.2
			④ 責任者の意見を素直に聴いたり、素直に指示に従うことができる。	4.2
			⑤ 組織の中で、逸脱した行為をとらないようにしている。	4.2
			⑥ 当番や役割による仕事は、確実にしている。	4.2
		5 感性	① 児童や教育に関する情報を、たえず捕えようとしている。	3.8
			② クラブや学童のことだけでなく、自然や社会のできごとにも興味がある。	4.0